



プレスリリース

速報版

GENIVI アライアンス、チャレンジ助成金プログラムを発表
アライアンスの開発コミュニティへの取り組みと GENIVI 開発プラットフォームの前進
を促進する新たな助成金プログラム発足

米国カリフォルニア州サンラモン、2016年7月21日 – 自動車業界を対象としたオープン車載インフォメーション (IVI) とコネクティビティ・ソフトウェア・プラットフォームの開発を扱う非営利団体、GENIVI アライアンスは、GENIVI 開発プラットフォーム (GDP) の強化機能のデリバリーを促進するためにデザインされた GENIVI チャレンジ助成金プログラムを発表しました。

GENIVI チャレンジ助成金プログラムは、アライアンスの GDP を前進させるオープンソースソフトウェアの開発を目指す会員団体、非会員団体および個人を対象としています。チャレンジ助成金プログラムでは、コード開発への貢献に対して GENIVI 開発コミュニティによる承認により最高金額 \$50,000 が GENIVI から進呈されることとなります。この助成金は、車載データインターフェイスやオーバーザエアアップデートを含むソフトウェア管理など、7つの GDP 分野の機能要件を満たす GDP コードベースに GENIVI が取り入れるソフトウェア貢献者に与えられます。

-続く-



「新型車に要求されるソフトウェアの増加に伴い、業界ではIVIとコネクテッド・カー用ソフトウェアの改善において、さらに広範な開発者による取り組みを可能とする頑健かつシンプルなツールを必要としています」と語るのは、GENIVIのエグゼクティブディレクター、スティーブ・クラム。「チャレンジ助成金プログラムは、GENIVI開発プラットフォームをツールとしてより良く位置づけ、プラットフォームをさらに良いものとする革新性と質の高いコードに貢献する開発者のアクティブな参加を高めるものです」

プログラムへの参加意向を示すための応募用紙をはじめ、GENIVIチャレンジ助成金プログラムに関する詳細は [GENIVI Wiki](#) をご覧ください。GENIVIは2016年10月17日の週に開催されるメンバー総会までに、対象機能への貢献が寄せられることを予定しています。

###

GENIVI アライアンスについて

[GENIVI アライアンス](#) は自動車業界を対象にしたオープン車載情報 (IVI) とコネクティブプラットフォームを扱う非営利団体です。140社以上の企業が参加するグローバルなネットワーキングコミュニティで、コネクテッド・カーの関係者と世界トップクラスの開発者を協力的な環境で結び付けることにより、無料のオープンソースミドルウェアを提供しています。GENIVIの本部は米国カリフォルニア州サンラモンにあります。

報道関係お問合せ先 - GENIVI アライアンス :

Craig Miner (グレイグ・マイナー)

GENIVI アライアンス

+1.248.840.8368

cminer@quell.com